

情報提供日	2023年(令和5年)7月21日 No.0504
問い合わせ先	シティ-ルズ推進室 天文科学館(担当:鈴木・西山) 078-919-5000(内線7152)

報道機関のみなさまへ

特別展 「日本の宇宙開発の歴史～JAXA20年のあゆみ～展」 を開催します！

2003年に宇宙科学研究所、航空宇宙技術研究所、宇宙開発事業団の3機関が統合して、独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)が発足してから20周年を迎えます。天文科学館では、この機会に、特別展「日本の宇宙開発の歴史～JAXA20年のあゆみ～展」を開催します。何卒、貴メディアで報道・ご紹介いただきますよう、よろしくお願いいたします。

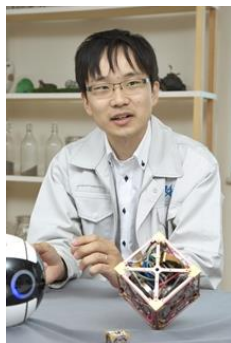
記

- 名称 特別展「日本の宇宙開発の歴史～JAXA20年のあゆみ～展」
- 期間 2023年(令和5年)7月22日(土)～9月3日(日)
- 場所 天文科学館 3階 特別展示室
- 展示内容 (1) JAXAを中心に、宇宙開発の歴史を年表形式で各プロジェクトの解説パネルや打ち上げポスターとともに紹介。
(2) 兵庫県出身のJAXA職員にスポットをあて、携わるプロジェクトの見どころなどを紹介。
- 関連企画 講演会「時空間情報がみちびく未来(仮)」
〔講師〕JAXA 第一宇宙技術部門高精度測位システムプロジェクトチーム 村上滋希氏
〔日時〕8月27日(日) 午後6時～7時30分
〔場所〕2階プラネタリウムドーム
〔定員〕150人(8月5日午前9時～前日17時まで同館ホームページで先着順に受付。)
〔参加費〕300円(駐車料金別途200円)
- 協力 JAXA 宇宙航空研究開発機構、
全国科学館連携協議会



特別展ポスターイメージ

■スポットをあてる兵庫県出身のJAXA職員



茂渡修平氏

加古川市出身。
2014年JAXA入構。2021年博士号取得。学生時代から、月・惑星探査ロボットの研究、衛星の高精度な姿勢制御の研究などの他、宇宙ステーション浮遊ロボット「Int-Ball」の開発、「はやぶさ2」運用などに携わる。



第一宇宙技術部門
高精度測位システム
プロジェクトチーム
村上滋希氏

尼崎市/赤穂市出身。
2014年JAXA入構。阪神大震災を5歳のころ尼崎市で被災した経験から、学生時代は主に「情報」×「防災」のテーマで研究を実施。JAXA入構後は日本版GPSである「準天頂衛星みちびき初号機」の運用を経て、現在、衛星測位システムの研究開発に携わる。